

第22回 鹿児島県地域年金事業運営調整会議 議事要旨

開催日時：令和6年7月12日（金）14時～16時

開催場所：かごしま国際交流センター 研修室1

出席者：委員9名

日本年金機構8名

議事

- 1 開会 鹿児島北年金事務所事務局
- 2 あいさつ 鹿児島北年金事務所長 久保直人
- 3 委員等紹介
- 4 議事

議題1 令和5年度事業実施経過報告

【資料 第22回鹿児島県地域年金事業運営調整会議資料2】事務局からP1～24までを説明。各委員から意見・質問・要望をいただき、今後の取組に活かしていくこととしました。

議題2 令和6年度事業計画について

【資料 第22回鹿児島県地域年金事業運営調整会議資料2】事務局からP25～31までを説明。各委員から意見・質問・要望をいただき、今後の取組に活かしていくこととしました。

【主な意見・要望・質問】

○議題1 令和5年度事業実施結果報告

（中崎委員：鹿児島市国民年金課長）

年金セミナーについて、外国人の方が多き学校があろうかと思ひますが、外国人の方、学生さんを含めて年金の説明というのも大事になってくるのかなと思ひます。そういった方について説明会がありますか。

（事務局）

鹿児島北年金事務所管内で、留学生が在籍されている専門学校で学生納付特例申請の説明で訪問し、学生納付特例の申請を受理いたしました。今年度も説明に訪問いたしまして、学生納付特例を受理する予定となっております。また、鹿児島市役所で留学生に関して情報があつたら是非教えていただきたいと思ひます。

(片平委員：鹿児島県社会保険労務士会)

いわゆる年収の壁問題について、日本年金機構さんの方で、何かお取り組みされているようであればその件についてお聞かせください。

(事務局)

年金機構の方で企業様の訪問などの機会をとらえて、制度説明を行っております。

(川越委員：鹿児島県社会保険協会)

納付率が上がっている件について、努力をされていると思われませんが、原因等がわかれば、かなり急激に納付率がアップした原因を抽象的でもよろしいのでよろしく願いいたします。

(事務局)

制度を知らないことで損をする方がないようにしております。厚生年金を退職された方が、国民年金被保険者の割合を占めてきているような状況です。そういった方たちの中で制度を知らなくて保険料の免除制度を活用しないとかいう方が、セミナー活動、年金制度説明会、戸別訪問、文書による勧奨での取り組みで解消してきているというのが要因であります。また、公平性の確保において、資力があるのに納めない方への対応も若干強化してきているというのも要因でございます。

(北原委員：全国健康保険協会鹿児島支部)

鹿児島の納付率が上がっているのは良いことです。ただ、週刊社会保障によると全国で鹿児島は36位。前年からの順位でいくと37位。九州の中では一番下。伸びている県の課長とかから意見を収集して、更なる収納率アップに努めていただきたい。

(事務局)

全国の状況と鹿児島県の状況が記載しております。鹿児島市を管轄しております鹿児島北年金事務所が非常に苦戦しています。分析すると、若年者層の納付率が全国平均と比べて非常に低い状況です。特に今の時期が、納付率の伸びの反応が他の県と比べると遅い状況です。おそらく鹿児島県内に住んでいない方に勧奨していく中で、後で気付いて学生納付特例等をされているという状況と思われれます。

(宿口委員：鹿児島県年金協会)

2点あります。一点が全国の納付率と今年の6月に厚生労働省の発出した率の乖離についてです。もう一点は、奄美大島で中学生に対してセミナーを実施したことは大変いいことだろうと思います。年金機構さんとして鹿児島県の中でそのような取り組みを拡大していく方向なのか、あるいは、各年金事務所さんの裁量でこのようになるのかをお知らせ、照会いただけたらと思います。

(事務局)

配布している資料は、国民年金保険料の現年度納付率でございます。国民年金保険料というのは、納期限が到来してから2年間遡求して納めることが可能です。令和5年度分の保険料について令和5年度内に納付した割合が記載されております。2年間納付が可能ですので、例えば令和3年度分を2年後の令和5年までに納められたのが80%と機構になって初めて超えたということです。令和4年についても2年間納めることができるので80%を超える見込みです。もう一点目については、拠点によって、中学生も対象にセミナーを実施できます。アプローチするかは各拠点のセミナーの講師の数の問題があるので、各事務所に対応しています。租税について中学生はしているそうです。今年度、厚労省から文科省に対して学校教育で年金について案内も行っているようで、アプローチも増えていくのかなと思っております。

(宮浦委員：鹿児島商工会議所)

私は、資料作成について。前年実績との対比、各項目のコメントがあればもっとよいのではないのでしょうか。

(事務局)

是非、改善したいと思います。貴重なご意見ありがとうございます。

(飯田委員：鹿児島県教育庁高校教育課)

高校生向けのセミナーについて、内容に関してですが、最近の授業の形態が、生徒に議論をさせて、考え方を考えていくというのが主流です。教材を提供される場合、話し合い活動とか生徒に発表の場を設けさせるとかを入れていただくとより有意義に、身をもって生徒が私事として考えることができるのではと思います。

(事務局)

セミナーの手法について、よい意見をお聞きしましたので検討させていただきたいと思います

(紺屋委員長)

昨年の事業実績につきましては、皆様から高了承、高評価でありました。次年度にまたがるご提言、ご提案をいただきまして御礼申し上げます。ありがとうございました。それと、答えづらいことも果敢に答えていただき、感謝申し上げます。ありがとうございました。

○議題2 令和6年度事業計画について

(有村委員：鹿児島県社会保険委員会連合会)

中高生が購読している、科学雑誌に社会保障制度の記事があったのでご紹介いたします。回覧いたしますのでご覧ください。

障害を持っている親に対して説明とかの機会があればと。実際やっていけば非常にいい取り組みだと思います。

(事務局)

特別支援学校等での制度説明会では、保護者様、学校の先生様に対して実施しております。すべての学校でできているわけではないので引き続きアプローチをして、できるだけたくさんの方、保護者様に聞いていただけたらと思います。

(片平委員：鹿児島県社会保険労務士会)

事業計画の資料作成について。数値化ができるものについては、数値化できたらよいと思います。いつまでにこういうことをやりますとか、数値についてもスローガンの形になってしまうので、より数値化すること、そうすることによって、後から検証もしやすくなります。もしできるのであれば、ご検討していただけたらと思います。

(事務局)

資料のモデルがあります。全国版のモデルを使用していますが、是非、ご意見を参考に3月の中間報告の時には鹿児島版が作れるようにしていきたいと思います。

(紺屋委員長)

先ほども資料の件ありましたが、資料は見やすくわかりやすいのですが、
少しずつ改善していくということでお願いします。また、進行に協力して
いただき感謝申し上げます。

5 閉会